



国際ロータリークラブ第2670地区徳島第2分區  
美馬ロータリークラブ週報

2012年3月27日 火曜日 Vol.284

例会出席者 19名(会員総数32名) 出席率 71.8%  
メーキャップ 森廣一君(4回)  
ゲスト おいでません  
会長挨拶 藤野章二会長

先週、法定休会でしたので二週間ぶり、ずいぶん久方ぶりの例会の様な気がします。出会いと別れが交錯する3月、年度末。メンバー各位には大変忙しい毎日であろうとお察し申し上げます。この二週間、私も友人の送別や退職祝の会に呼ばれたりして少々疲れ気味です。先日もある退職の慰労の場で盃を酌み交わしながら色々考えさせられました。

私達自由業の身にはあまり理解できない部分があるかも知れないけれど大小問わず組織の中で数十年、勤めあげのご苦労は大変なものでしょうし、それだけに無事健康で定年退職の日を迎えられた思い。喜び、まさに感慨無量のものがあるんでしょう。社会人としてスタートして以来、時には前途を悲観したり、他の道への転進を考えた事もあったかも・・・?

仕事上のトラブル、職場での悩み・・・家族や子供達の成長と相まって人生の節目・節目で時には狩らんで自らを見つめ直し、少しばかりの妥協や諦観も許容しながら自分にムチ打ち努力を重ね今日まで来た。ホッとする反面、寂しさもあり無事、今日ほど頑張った自分をほめてあげたい。友人のねぎらいの言葉が今日ほど素直にうれしく感じられた事もないんじゃないか?そんな思いで退職する友人の顔をしみじみとながめたりもしました。自営事業者の私達に定年はありませんが、やがてリタイヤする時が訪れます。私事ですが、ギフト屋というのは常にそのご家庭の祝いや慶び事、ご不幸にも直接、間接にかかわって来た訳でお客様と哀歓を又人生そのもの一部共有した時を持つ訳です。

つまり私自身の人生の一部分でもある訳ですし、無責任にリタイヤする事は憚られますが、確実にその時は来ます。その時の心準備は・・・?いろいろ考えさせられる事の多い今日此の頃です。

幹事報告 横内優副幹事

到着週報 ... 脇町RC

到着書類

- ・ 2011～2012RI会長賞の提出方法について
- ・ ロータリー財団への寄付について
- ・ 五クラブ親善ゴルフ大会のご案内
- ・ RI国際大会信任状

連絡事項

- ・ 次回4月3日は、脇町の秋葉神社で花見例会となっています。雨天の場合は西岡レストランです。

委員会報告

ありません

卓話

《ロータリークラブの初期の話》 広川公利君

アルカポネの時代（1900年頃）

ロータリークラブは、1905年2月23日の夜に、弁護士のポール・ハリス、石炭業者のシルベスター・シール、洋服屋のハイラム・ショーレ、鋳山技師のガスターバス・ローアの4名でユニティビルジングの711号室ガスターバスの事務所で世界最初の公式例会が開かれました。これが、世界初の奉仕クラブ、イリノイ州、シカゴロータリークラブが結成され、例会場は、輪番制（ローテーション）で提供しあったことから“ロータリー”の名がつけました。

輪番、回転にちなみ6本スポークの歯車がシンボルマーク（エンブレム）となりました。この時に、一業種一人と決めていました。

職業奉仕（会員の職業倫理を高めること）と、そこから広がる社会奉仕と、国際奉仕を目的とする。基本的には、[I surve : 私は奉仕する。]

クラブとは奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まりであり、国際ロータリーは、そのクラブの連合体であります。

余談ですが・・・

このシルベスター・シールは、人に好かれ、人柄がとても良くて、ポール・ハリスは、シールを大変に尊敬していたので、死後は、ポールの希望であったので、シールの墓の横に埋葬されました。

日本へは、1920年（大正9年）当時、三井銀行の重役であった米山梅吉と、三井物産の福島善三次（ふくしま きそじ）の二人が奔走して、東京に世界で855番目の認証クラブができました。福島さんは、日本人で最初のロータリアンで、ダラスロータリークラブの会員で、物産のニューヨーク支店、上海支店長などをしていました。東京クラブの初代幹事です。

2番目は、1923年に大阪ロータリークラブです。福島さんが、大阪支店長として転勤になった時につくりました。初代の幹事でした。

ニ コ ニ コ

川田勝義君、小田教仁君

欠 席 者

青木茂生君、石井正司君、上田佳江君、宇山裕士君、小野一史君、澤田篤也君、千葉正樹君、野々村隆君、林秀樹君、藤田茂樹君、前田豊太郎君、美馬眞澄君、三好巨君

**各会員はメーキャップをお願いします。**

次 回 例 会

2012年4月3日（火） 18：30より 花見例会（秋葉神社）

雨天の場合はストラン西岡です。